

農業振興の促進と環境問題について

市民の皆さまこんにちは!再びチャンスを与えて頂いたことに感謝しながら、私心を捨て「心の政治で大好きな和歌山市」のため、9月定例市議会で質問させて頂きました。これからも、皆さまのお声を市議会や関係機関へお届けし、必要とされる方々のお役に立てるよう頑張っ参ります。



問 第2次和歌山市農業振興基本計画では、総農家数や耕地面積の減少、農業生産基盤と関連施設の維持・整備（整備延長距離達成率41%）等まだまだ達成率が低い。今後の方針は？

市長 第2次計画では、担い手の育成・確保や農地の保全と生産基盤の充実、豊かな産地の育成、農業と環境の共生、農業振興のためのネットワーク強化の5つの基本方針を定めている。第1次計画の達成率からみて、担い手の育成と農地の保全が喫緊の課題である。

これまで新規就農者への助成や遊休農地解消を図るために必要な費用助成等様々な農業支援を行い、今年度からは汚泥を堆肥化する実証実験をはじめ循環型社会への取り組みを行っている。安心安全でおいしい農作物を供給できるよう関係機関と連携し、持続可能な農業を支援していく。

問 次期ごみ処理施設は環境に配慮した次代の施設も選択肢に入れてはどうか。また、高齢者等も貢献できる住民参加型のリサイクルセンターも効果的と思うが？

市長 廃棄物は単にごみではなく大切な資源になるものと認識している。住民参加型のリサイクルの推進は、資源を大切にするという市民意識が高まり、ごみ減量及びリサイクル向上にもつながる。

次期ごみ処理施設は、循環型社会の形成を念頭に環境及び資源循環経済など総合的に配慮した施設となるよう計画策定を進めていく。